



しょうしょ

小暑（7日）… 七夕に願いを託します …

園庭の築山のフェンスに沿ってブドウが蔓を伸ばし、青い実をたくさん付けています。これは15年ほど前に、保護者の方からいただいた苗を植えたものだそうです。秋には紫色に色付いて、きっとおいしく食べられると思います。畑やプランターでは、南青山産の野菜が成り始めました。今年は収穫できた順の一つずつ持ち帰っています。採れたての旬の野菜の味は、きっと五感に響く思い出となることでしょう。

<蓮始開 はすはじめてひらく 7月12日~16日>

小暑の次候は「蓮始開」です。蓮の花が咲き始める頃です。水生植物は泥の中に根を張っていますが、地上にはきれいな花を咲かせます。わくわく池には、春から順番にきれいな花を咲かせてくれる植物が登場し、ご紹介してきました。

蓮はありませんが、5月にはキショウブ（黄菖蒲）、6月にはハンゲショウ（半夏生）が咲きました。そして、7月になって、紫色の背の高いきれいな花が咲き始めました。調べてみると、お盆に飾る花として、よく目にしていた「ミソハギ（禊萩）」でした。湿地や田んぼの畦でよく見掛ける多年草です。

<キショウブ、ハンゲショウ、そしてミソハギ>



時々、嫁の実家の庭の草刈りや剪定に出掛けるのですが、そこでも目にしていた植物でした。『ミソハギ』くん。これからはちゃんと名前を覚えて、仲良くしたいと思います。

<梅雨時は植物にとって恵みの季節ですが…>

いろいろな草花が自生する園庭ですが、特にこの時期、水辺の草花がどんどん生長し、勢力を拡大しています。ビオトープは、そもそもその地域に棲む生き物や植物が棲むように作ります。下の丸い葉っぱの「ウチワゼニクサ」は、その意味ではビオトープにはふさわしくない草と言われており、ものすごい繁殖力なので、折に触れて除草しています。



今年の梅雨は特に雨が多いように感じます。水は命の源ですから、なくてはならない大事なものですが、このところの各地の被害を見ると心が痛みます。梅雨が明けて、青空の下で遊べる日が待ち遠しいですね。